

準用河川宮前川河川改修工事 質問事項に対する回答

NO.	質問事項	回答
1	鋼矢板圧入時の近隣家屋の物置小屋とのクリアランスですがクラッシュパイラーの機械幅が1100mmですので、センターラインからは最低550mm以上必要となります。しかし物置小屋の建物と土台は強固なものとは思えませんので安全離隔を考えますと1000mmくらい離れている方が良いと思います。どうしても作業離隔が確保できない場合は事前に物置小屋の土台部分の補強が必要となるが、補強については変更対象となりますか、ご教授ください。	施工方法等の協議・精査を行い、変更対象とします。
2	鋼矢板引抜き時に水門施設の保安フェンス（写真添付）と干渉する3枚の離隔が無く作業困難となります。設置して年月の経っている鋼矢板にはかなりの土圧が掛かっているのと海水が流入する場所では鋼矢板のセクション部が錆などで癒着していて容易には引抜きできません。やむなくクレーン等での強引な直接引抜き作業は隣接施設の破損や重機事故の危険性が高くなる為、避けた方が良く考えます。その為一時的にフェンスの支柱と金網を干渉する部分だけ撤去・復旧が出来るかの検討が必要と思います。その際の作業は、変更対象となりますか、ご教授ください。	変更の対象とします。
3		